

# 第四次熱海市総合計画

後期基本計画

概要版



平成28年3月

## 「誰もが輝く楽園都市 熱海」を目指して



本市では、平成 23 年 3 月に「住むひとが誇りを 訪れるひとに感動を 誰もが輝く楽園都市 熱海」を将来像とした、第四次熱海市総合計画を策定し、平成 23 年度から平成 32 年度までの 10 年間の基本構想と、平成 23 年度から平成 27 年度までの 5 年間の前期基本計画に基づいたまちづくりを進めてきました。

前期基本計画では、行財政改革をはじめとし、3大建設プロジェクト（市庁舎、JR 熱海駅前広場、新生熱海中学校）、シティプロモーション、観光まちづくりなど、「楽園都市 熱海」の実現に向け、市民の皆様の生活満足度と観光客の訪問満足度の両方の向上を目指した取り組みを実施してきました。

後期基本計画では、人口減少・少子高齢化の進展、東日本大震災の発生、観光を取り巻く環境の変化など前期基本計画策定後の社会情勢を鑑み、前期基本計画を継承しながらも新たな視点と発想を加えております。基本構想に掲げている「豊かな暮らしの創造」、「賑わいと癒しの創造」、「人と自然が共生する社会の創造」の 3 つの創造とそれぞれの取り組む柱に重点化施策、主な事業を設け、これまでの 5 年間で築き上げたまちの基盤をさらに強固なものにするよう、次なる 5 年間のまちづくりに取り組んでまいります。

また、この後期基本計画の策定では、市民の皆様にわかりやすい計画づくりに努め、各種施策の成果目標を指標で示しております。今後の計画の進捗についても、実施状況を市民の皆様と評価し、着実な進行管理に努めたいと考えております。

最後に本計画策定にあたり、活発なご審議をいただきました総合計画審議会の委員の皆様をはじめ、市民・職員合同会議、パブリックコメントを通じて貴重なご意見・ご提言をお寄せいただきました市民の皆様に対し、厚くお礼を申し上げます。

平成 28 年 3 月  
熱海市長 齊藤 栄

# 第四次熱海市総合計画概要

## 1 計画策定の趣旨

本市では、昭和54年(1979年)にまちづくりの基本方向を示す計画として「熱海市総合計画」を策定し、その後「ふれあいのまちリゾート熱海」を将来都市像と位置づけた「新熱海市総合計画」(平成元年)、「しあわせ もてなし おしゃれな 熱海」を将来都市像に「熱海フレッシュ21計画」(平成13年)を策定し、各種の施策を推進してきました。

この間、人口減少社会への転換、少子高齢化の更なる進行、世界を揺るがした経済不況、地球規模での環境問題の深刻化、情報技術の発展など、今まで経験したことのない大きな変動の波が押し寄せました。

今まさに、変革の時代を迎えた地方自治体を取り巻く環境は、大変厳しい状況にあります。三位一体の改革や相次ぐ市町村合併などにより、地方自治体は新たな段階を迎え、地域間競争に対応した創意・工夫に基づく自立した行政経営が求められています。

このような中で、時代の動向をしっかりと見据え、市民をはじめとした様々な力を結集し、誇れる我がまちの地域資源を磨き上げ、本市の特性を最大限に生かした熱海にふさわしいまちづくりを進めることが重要です。その実現のため、市民と行政が共に考え、築く、新しい“まちづくりの指針”として「第四次熱海市総合計画」を策定するものです。

## 2 計画の構成

### ■ 基本構想

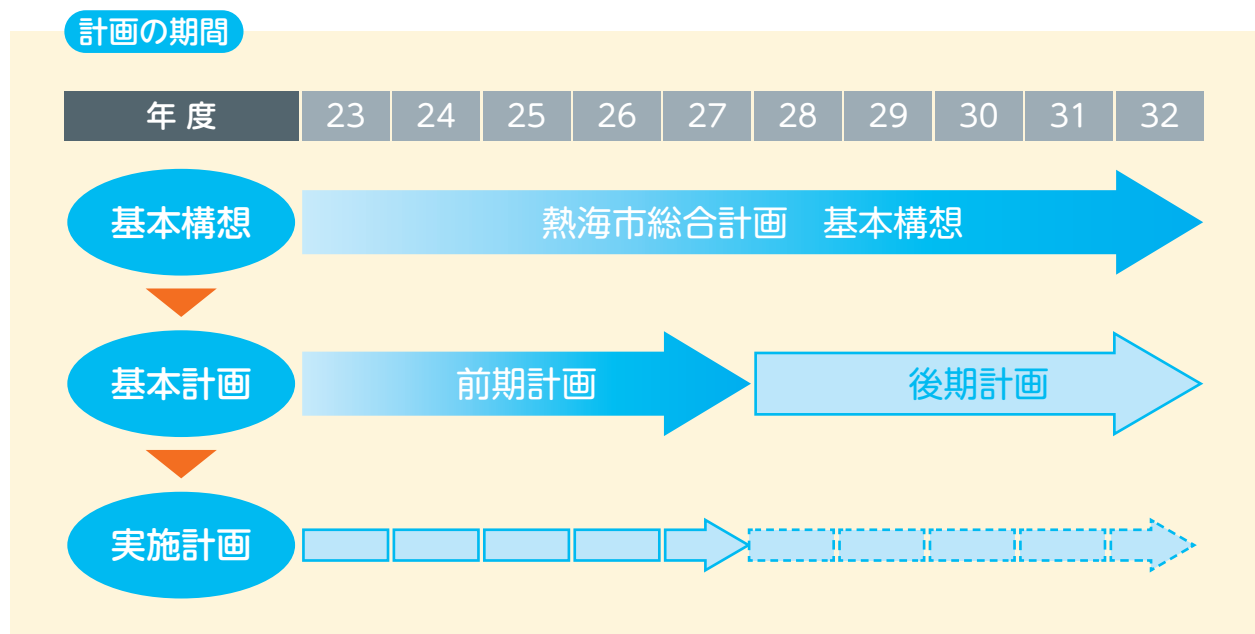
基本構想は、まちづくりの基本理念を明らかにするとともに、本市の将来像を示すものです。計画期間は、平成23年度(2011年度)から平成32年度(2020年度)までの10年間です。

### ■ 基本計画

基本計画は、基本構想に示した将来像を実現するために、必要な諸施策を体系的に示すもので、前期計画と後期計画で構成します。ここでは、平成28年度(2016年度)から平成32年度(2020年度)までの5年間の計画期間とした「後期計画」を定めています。

### ■ 実施計画

基本計画で定めた施策を計画的かつ効率的に実施するために必要となる具体的な事業について、「実施計画」として別に定め、毎年度見直し更新することにより、時代の変化とニーズに対応していきます。



## 3 目標人口

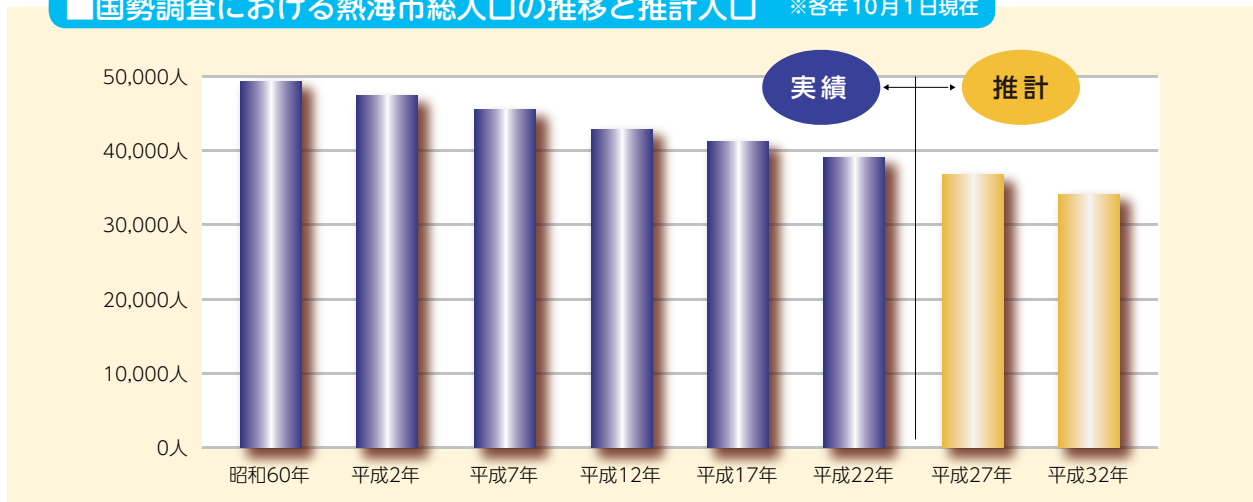
### 平成32年における目標人口 40,000人

本市の人口は減少傾向にあり、平成17年(2005年)の国勢調査を基にした「国立社会保障・人口問題研究所」の推計(\*コーホート要因法)によると、平成32年(2020年)における本市の総人口は、約34,000人に減少し、高齢化率は45.4%に増加すると予測されています。

このような状況の中、人口減少に歯止めをかけることを本市の最重要課題の一つとらえ、子育てや教育環境の充実、保健・医療・福祉環境の充実、居住環境や交通基盤の整備などによる生活環境の向上、雇用や賑わいをもたらす産業振興施策の積極的な展開など、住みたくなるまちづくりを総合的に推進し、平成32年の目標人口を40,000人とします。

あわせて、観光やビジネスなどで訪れる交流人口や都会と熱海を行き来する二地域居住人口を増やす施策を行うことにより、地域の活力を高めていきます。 \*コーホート要因法：基準年の人口をベースに、各コーホート(年齢階級)ごとに、次の推計要因の仮定値(推計値)を用いて推計年の将来人口を求める方法

■国勢調査における熱海市総人口の推移と推計人口 ※各年10月1日現在



## 4 将来都市像とその実現

### I 将来都市像

本格的な人口減少社会の到来と急激な少子高齢化の進行により、様々な分野において、将来を見据えた方策の転換や再構築が求められています。また、核家族化の進行、ひとり暮らしの高齢者の増加など、子どもや高齢者を取り巻く環境が変化しています。このような社会情勢の中、心の豊かさやゆとりある生活が実現できる住みよいまちを目指し、地域の魅力を生かしたまちづくりを市民本位に進めていくことが求められています。

一方、長引く経済不況などにより、来遊客が減少し基幹産業である観光関連産業への影響が深刻なものとなっています。観光ニーズが変化し多様化する中で、熱海の持っている資源や魅力を見直し、体験型観光や健康と温泉を結ぶような新たな観光・湯治スタイルによる経済活性化の取り組みが求められています。

また、温暖な気候と温泉に恵まれた熱海は、自然の恩恵によって発展してきたまちでもあります。今、世界の各地で自然が破壊され、生活環境への悪影響が懸念されています。このような状況の中で、温泉によって発展した熱海には、地域の自然をしっかりと守り、豊かな自然と共生するまちづくりが求められています。

以上のような多くの課題に取り組み、市民のためのまちづくりを市民と行政の協働で進め、地域資源の恵みに感謝し、市民が熱海に誇りを持って豊かに暮らし、訪れる人々を市全体で温かく迎えるまち「楽園都市 熱海」を目指し、本市の将来都市像を次のように掲げます。

**「住むひとが誇りを 訪れるひとに感動を  
誰もが輝く楽園都市 熱海」**

## Ⅱ 3つの創造と取り組む柱

- |                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| <p><b>1. 豊かな暮らしの創造</b></p>           | <p>【1】子どもたちが安心して豊かに育つことができる環境づくり<br/>                 【2】互いに支えあうまちづくりの推進<br/>                 【3】健康で豊かな暮らしの実現<br/>                 【4】安全・安心を意識した住みやすさの追求</p> |
| <p><b>2. 賑わいと癒しの創造</b></p>           | <p>【1】魅力ある湯治場としての復活<br/>                 【2】熱海らしい観光まちづくりによる満足度の向上<br/>                 【3】地域特性を生かした産業の振興</p>   |
| <p><b>3. 人と自然が共生する<br/>社会の創造</b></p> | <p>【1】環境にやさしいまちづくり<br/>                 【2】自然を守り継承し、癒される空間の創出</p>  |

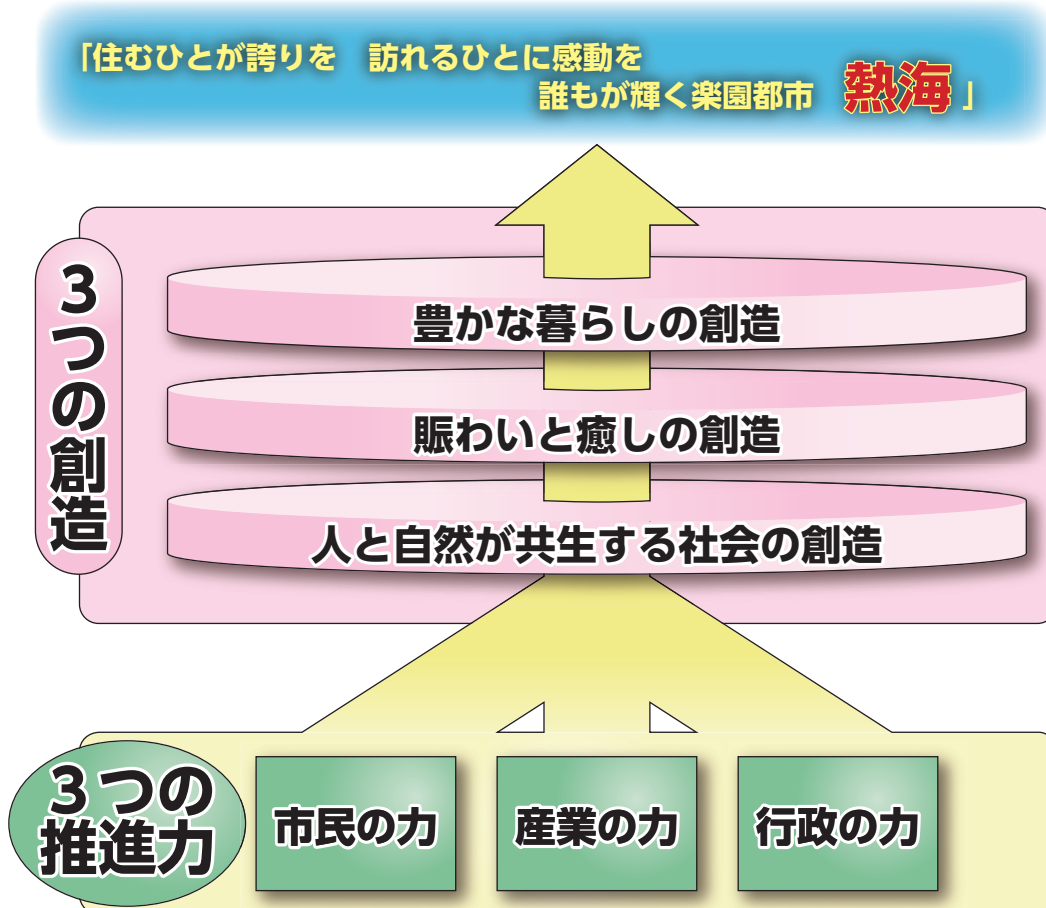
## Ⅲ 将来都市像実現のための推進力

将来都市像を実現するための推進力として、市民や産業のエネルギーを「市民の力」、「産業の力」、目標実現に向けた様々な施策を展開する上で必要になる行政のあり方を「行政の力」と位置付けました。

1. 市民の力

2. 産業の力

3. 行政の力



# 後期基本計画の概要 — 施策の体系図 —

第四次熱海市総合計画後期基本計画は、3つの創造（大事業）、9つの取り組む柱（中事業）、32の重点化施策（小事業）で構成しています。

## 第四次熱海市総合計画後期基本計画（2016～2020年度の5年間）

「住むひとが誇りを 訪れるひとに感動を  
誰もが輝く楽園都市 **熱海**」

### 3つの創造（大事業）

### 取り組む柱（中事業）

### 重点化施策（小事業）

1. 豊かな暮らしの創造

【1】子どもたちが安心して豊かに育つことができる環境づくり

- (1) 出産育児の不安を解消する（乳幼児）
- (2) 状況に応じて支援する（子育て支援）
- (3) 生きる力を育む（学校教育）
- (4) 地域で見守り、育てる（健全育成）

【2】互いに支えあうまちづくりの推進

- (1) 住みなれた地域での安心な暮らし（地域福祉の推進）
- (2) 互いに尊重する（障がい者福祉）
- (3) 健康で生きがいのある暮らし（高齢者福祉の増進）
- (4) コミュニティ活動の活発化（つながりづくり）

【3】健康で豊かな暮らしの実現

- (1) 健康寿命を伸ばす（健康づくり）
- (2) 病気を予防する（疾病予防・地域医療）
- (3) 身体を動かす（スポーツの振興）
- (4) いつまでも自ら学べる（生涯学習の環境づくり）

【4】安全・安心を意識した住みやすさの追求

- (1) 命を守る（消防救急）
- (2) 災害に備える（防災）
- (3) 事故や犯罪を防ぐ（防犯・交通安全）
- (4) 消費者を守る（消費生活）
- (5) まちを活かす（まちづくり）
- (6) まちを結ぶ（交通）

2. 賑わいと癒しの創造

【1】魅力ある湯治場としての復活  
【2】熱海らしい観光まちづくりによる満足度の向上

- (1) まちで楽しむ（観光）
- (2) まちを知ってもらう（情報発信・収集）
- (3) まちを匂わせる（文化の振興）

【3】地域特性を生かした産業の振興

- (1) 個店の取り組みを支援する（商工業の振興）
- (2) まちの恵みを受け取る（農林水産業の振興）
- (3) 新たな産業を育てる（労働力確保）

3. 人と自然が共生する社会の創造

【1】環境にやさしいまちづくり

- (1) まちをきれいにする（廃棄物処理）
- (2) まちを美しくする（環境衛生）

【2】自然を守り継承し、癒される空間の創出

- (1) 自然環境を保持する（自然環境の保全）
- (2) 豊かな生活空間を創る（緑地・公園・海岸・河川）
- (3) 快適な住環境を創る（生活関連施設）

4. 総合計画の推進にあたって

- (1) 市民協働
- (2) 広域行政
- (3) 行財政運営

## 1 豊かな暮らしの創造

### [1] 子どもたちが安心して豊かに育つことができる環境づくり

#### <重点化施策> [1] 出産育児の不安を解消する(乳幼児)

- ◇ 不妊治療の支援 ◇ 産前産後の相談体制の充実 ◇ 子育ての孤立化防止 ◇ 子育て教育の充実
- ◇ 教育・保育の総合的な提供の検討 ◇ 保育サービスの充実

#### <重点化施策> [2] 状況に応じて支援する(子育て支援)

- ◇ 子どもたちの居場所づくり ◇ 障がい児への支援 ◇ ひとり親家庭への支援
- ◇ 子育て支援サービス情報の発信 ◇ 家庭・地域・社会での子育て推進

#### <重点化施策> [3] 生きる力を育む(学校教育)

- ◇ 子どもの力を伸ばす教育の推進 ◇ 学校・教職員の力を高め、安全・安心な教育環境の整備
- ◇ 子どもの未来を応援する教育環境の充実

#### <重点化施策> [4] 地域で見守り、育てる(健全育成)

- ◇ 子どもと親の育ちの場の提供 ◇ 放課後対策 ◇ 地域資源を活用した学習活動の強化 ◇ 地域に根ざした活動の推進

### [2] 互いに支えあうまちづくりの推進

#### <重点化施策> [1] 住みなれた地域での安心な暮らし(地域福祉の推進)

- ◇ 民生委員・児童委員などの活動の支援 ◇ 熱海市社会福祉協議会との連携
- ◇ 学校教育や社会教育におけるボランティア講座などの開催 ◇ 祭り、運動会、文化祭などへの支援
- ◇ 相談サービスの充実 ◇ 「居場所」づくりの支援

#### <重点化施策> [2] 互いに尊重する(障がい者福祉)

- ◇ 相談支援体制の充実 ◇ グループホームの誘致 ◇ レスパイトケア・サービスの利用促進
- ◇ 啓発活動・情報提供の充実 ◇ 障がい者の社会参加の促進 ◇ 就労支援

#### <重点化施策> [3] 健康で生きがいのある暮らし(高齢者福祉の増進)

- ◇ 生きがいづくりの支援 ◇ 介護予防の推進 ◇ 在宅サービスの充実 ◇ 高齢者の外出支援
- ◇ 身体機能維持を支援 ◇ 地域社会への参画機会の拡充 ◇ 住みなれた地域での暮らしの推進

#### <重点化施策> [4] コミュニティ活動の活発化(つながりづくり)

- ◇ 町内会組織の運営に対する支援 ◇ コミュニティ活動の必要性の啓発 ◇ 「居場所」づくりの支援
- ◇ NPO・ボランティア団体活動の推進 ◇ コミュニティの連携促進 ◇ 市民団体による出前講座の活用

### [3] 健康で豊かな暮らしの実現

#### <重点化施策> [1] 健康寿命を伸ばす(健康づくり)

- ◇ 健康診査の受診環境整備 ◇ 民間企業との協働 ◇ 運動習慣と健康意識付け ◇ 介護予防の推進
- ◇ ソーシャルキャピタルづくり ◇ 食生活を考える地域活動支援

#### <重点化施策> [2] 病気を予防する(疾病予防・地域医療)

- ◇ がん検診・特定健康診査の受診率向上 ◇ 生活習慣の改善支援 ◇ 喫煙・飲酒対策
- ◇ 感染症の予防 ◇ 地域医療体制の充実

#### <重点化施策> [3] 身体を動かす(スポーツの振興)

- ◇ 生涯スポーツの推進 ◇ スポーツ情報の提供 ◇ 「見る」楽しみ ◇ スポーツ活動を支える仕組みづくり ◇ 人材育成

#### <重点化施策> [4] いつまでも自ら学べる(生涯学習の環境づくり)

- ◇ 生涯学習機会の充実 ◇ 生涯学習成果の還元 ◇ 図書館資料の保存と活用 ◇ 新図書館づくりの推進
- ◇ 「熱海温泉誌」編纂

## 【4】安全・安心を意識した住みやすさの追求

### <重点化施策> 【1】命を守る（消防救急）

- ◇ 救急救助体制の充実 ◇ 消防体制の充実 ◇ 予防体制の強化 ◇ 消防団の充実と強化

### <重点化施策> 【2】災害に備える（防災）

- ◇ 防災意識の高揚 ◇ 自主防災活動等の推進 ◇ 防災体制の充実と強化 ◇ 地震に強いまちづくり

### <重点化施策> 【3】事故や犯罪を防ぐ（防犯・交通安全）

- ◇ 防犯・暴力追放対策の充実 ◇ 交通安全意識の高揚 ◇ 交通安全施設の整備

### <重点化施策> 【4】消費者を守る（消費生活）

- ◇ 消費活動に関する情報発信 ◇ 消費相談 ◇ 国・県、近隣市町との情報共有とその情報発信
- ◇ 消費者団体の活動支援

### <重点化施策> 【5】まちを活かす（まちづくり）

- ◇ 市内の景観維持 ◇ コンパクトシティの推進 ◇ 未利用地等の利用促進 ◇ 空家対策
- ◇ まちづくりの拠点整備 ◇ 地区ごとの整備計画の策定

### <重点化施策> 【6】まちを結ぶ（交通）

- ◇ 円滑な道路交通の確保 ◇ 広域幹線道路網の整備促進 ◇ 歩道の整備・改善 ◇ 道路の維持管理
- ◇ 地域に応じた公共交通整備 ◇ 路線バス、鉄道の利便性の向上

## 2 賑わいと癒しの創造

### 【1】魅力ある湯治場としての復活

### 【2】熱海らしい観光まちづくりによる満足度の向上

### <重点化施策> 【1】まちで楽しむ（観光）

- ◇ シティプロモーション推進 ◇ 観光誘客事業の推進 ◇ ターゲティングを行った観光商品の企画・立案
- ◇ 観光関連活動への支援 ◇ 広域連携による魅力発信

### <重点化施策> 【2】まちを知ってもらう（情報発信・収集）

- ◇ 旬な情報を首都圏メディアに発信 ◇ プロモーションテーマの設定と恒常的な魅力の整理
- ◇ 魅力ある情報を効率よく発信する ◇ 移住促進プロモーションの実施

### <重点化施策> 【3】まちを匂わせる（文化の振興）

- ◇ 次世代育成活動 ◇ 文化活動への支援 ◇ 文化活動の拠点整備
- ◇ 文化財保護活動の推進 ◇ 重要文化財等の保存・整備・活用

### 【3】地域特性を生かした産業の振興

### <重点化施策> 【1】個店の取り組みを支援する（商工業の振興）

- ◇ 個店支援 ◇ 商店街の魅力向上

### <重点化施策> 【2】まちの恵みを受け取る（農林水産業の振興）

- ◇ 効果的な情報発信 ◇ 鳥獣被害抑制への取り組み ◇ 水産資源の保護 ◇ 漁港の整備

### <重点化施策> 【3】新たな産業を育てる（労働力確保）

- ◇ 労働環境の整備 ◇ 労働力の確保 ◇ 創業支援 ◇ 新産業の創出



## 3 人と自然が共生する社会の創造

### 【1】環境にやさしいまちづくり

#### <重点化施策> 【1】まちをきれいにする（廃棄物処理）

- ◇ ごみの減量と再資源化の推進 ◇ 廃棄物の適正処理の推進
- ◇ 学校・地域・事業所におけるリサイクル活動への支援 ◇ ごみ焼却施設などの維持管理と整備

#### <重点化施策> 【2】まちを美しくする（環境衛生）

- ◇ 花木によるまちづくりの推進 ◇ 環境情報、環境教育・環境学習に関する情報の提供
- ◇ きれいなまちづくりの推進 ◇ 浄化槽の適正管理の啓発 ◇ 下水道接続の普及

### 【2】自然を守り継承し、癒される空間の創出

#### <重点化施策> 【1】自然環境を保持する（自然環境の保全）

- ◇ 温泉の保全推進 ◇ 環境教育の推進 ◇ 環境保全の啓発推進 ◇ 環境保全活動の支援 ◇ 生物多様性の保全

#### <重点化施策> 【2】豊かな生活空間を創る（緑地・公園・海岸・河川）

- ◇ 公園管理及び利活用 ◇ 市民協働の支援 ◇ 海岸環境整備の推進 ◇ 災害に強い河川整備

#### <重点化施策> 【3】快適な住環境を創る（生活関連施設）

- ◇ 上水道施設の更新・耐震化 ◇ 下水道施設の更新・面整備 ◇ 市営温泉施設の適正な維持管理
- ◇ 公営住宅の有効活用 ◇ 火葬場の整備

## 4 総合計画の推進にあたって

#### <重点化施策> 【1】市民協働

- ◇ 共助意識の醸成 ◇ 市民協働の人材育成 ◇ 広報・PRの強化 ◇ 住民等によるまちづくりの推進
- ◇ 企業との協働事業の推進

#### <重点化施策> 【2】広域行政

- ◇ 美しい伊豆創造センターの取り組み支援 ◇ 広域連携体制の充実・強化
- ◇ 広域的行政サービスの向上

#### <重点化施策> 【3】行財政運営

- ◇ PDCA サイクルの確立 ◇ 適正な財政運営の維持 ◇ 人材の育成と活性化
- ◇ 市民ニーズに対応する組織づくり ◇ 公共施設マネジメントの推進

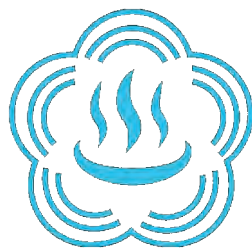
## 【施策別指標一覧】

計画期間中の取り組みの達成状況を示す尺度として、施策別指標を掲げています。

3つの創造	取り組む柱	重点的施策	評価指数と目標値			
			指標	現状	最終目標	
1. 豊かな暮らしの創造	【1】子どもたちが安心して豊かに育つことができる環境づくり	〔1〕出産育児の不安を解消する(乳幼児)	子育てに関する感じ方(楽しいと感じる方が多い人の割合)	64.2%	75%	
			認定こども園への移行	0園	1園	
			幼稚園の一時預かり	0園	全園	
		〔2〕状況に応じて支援する(子育て支援)	児童発達支援事業所数	0箇所	1箇所	
			放課後等デイサービス事業所数	0箇所	1箇所	
			ひとり親家庭就業支援制度の利用	1件	3件	
		〔3〕生きる力を育む(学校教育)	学校が楽しいと感じる児童・生徒の割合	—	小学校 95% 中学校 90%	
			全国規模で実施される学力テストで全国平均を上回る結果を残した科目の割合	小学校 4/4 中学校 1/4	小学校 4/4 中学校 4/4	
			家庭教育学級の入級率	54.5%	現状維持	
		〔4〕地域で見守り、育てる(健全育成)	公民館寺子屋事業の実施箇所	3箇所	5箇所	
			街頭補導参加者総数	515人	630人	
	【2】互いに支えあうまちづくりの推進	〔1〕住みなれた地域での安心な暮らし(地域福祉の推進)	自分の地区の民生委員・児童委員を知っていると回答される方の割合	40.5%	現状維持	
			近所付き合いについて、「非常に親しい」「親しい」と回答される方の割合	48.4%	現状維持	
			市民後見人に就く人数	0人	1人	
		〔2〕互いに尊重する(障がい者福祉)	相談支援事業所数	0箇所	1箇所	
			グループホーム施設数	1施設	2施設	
		〔3〕健康で生きがいのある暮らし(高齢者福祉の増進)	お達者度の向上	男性：16.47 女性：19.26 (H24年)	男性：17.69 女性：21.03 (H32年)	
			要介護2以上の認定者数	1,361人 (H25年度)	1,304人以下 ※H25年度推計	
		〔4〕コミュニティ活動の活発化(つながりづくり)	町内会加入率	82.7%(年度末)	85%	
			NPO・ボランティア団体支援ルーム登録数	22団体(年度末)	30団体	
			市内高齢者サロンの数	19	24	
		【3】健康で豊かな暮らしの実現	〔1〕健康寿命を伸ばす(健康づくり)	健康チャレンジ参加者数	493人	600人
				【再掲】要介護2以上の認定者数	1,361人 (H25年度)	1,304人以下 ※H25年度推計
	食育推進団体数			2団体	4団体	
	〔2〕病気を予防する(疾病予防・地域医療)		特定健康診査の受診率	27.6%	60%	
			子宮がん・乳がん検診の受診率	子宮がん 7.3% 乳がん 10.2%	20%	
			習慣的喫煙率(特定健診問診表)	男性：26.8% 女性：11.8% (H25年度)	男性：20% 女性：8%	
	〔3〕身体を動かす(スポーツの振興)		週に1回以上運動、スポーツする人の割合	37.0% (H23年度)	50%	
			市内スポーツ教室の種類	5種類	10種類	
	〔4〕いつまでも自ら学べる(生涯学習の環境づくり)		市民教室受講者状況	69.5%	85%	
			人材バンク登録状況	97名	120名	
			図書館利用状況(貸出人数)	38,577人	50,000人	
	【4】安全・安心を意識した住みやすさの追求		〔1〕命を守る(消防救急)	立入検査(査察)件数	年間 249件	年間 500件
		住宅用火災警報器設置率		78%	85%	
		救命講習修了者数		年間 557人	年間 760人	
		〔2〕災害に備える(防災)	地域防災訓練の参加自主防災会数	63団体	75団体	
			家具転倒防止事業を活用した世帯数(累計)	319世帯 (H22-H26の累計)	現状維持 (H28-H32の累計)	
			安全性について満足と感じる市民の割合	43%	60%	

3つの創造	取り組む柱	重点的施策	評価指数と目標値				
			指標	現状	最終目標		
1. 豊かな暮らしの創造	【4】安全・安心を意識した住みやすさの追求	(3) 事故や犯罪を防ぐ(防犯・交通安全)	刑法犯認知件数	432件 (H22-H26の平均)	350件 (H28-H32の平均)		
			運転免許証返納数(累計)	538人 (H22-H26の累計)	700人 (H28-H32の累計)		
			高齢者交通安全教室参加者数	1,538人	2,000人		
		(4) 消費者を守る(消費生活)	市民からの消費行動に対して満足を得られなかった年間相談件数	51件	30件		
			市内の振り込み詐欺被害件数	6件(H26年)	0件		
			消費者団体による出前講座回数	3回	6回		
		(5) まちを活かす(まちづくり)	東海岸町地区の未利用地	約2.5ha	2.0ha以下		
			(仮称)熱海フォーラム整備事業整備率	0%	100%		
		(6) まちを結ぶ(交通)	都市計画道路整備率	75.1%	79.1%		
			交通の便利さに満足と感じる市民の割合	35.8%	45.2%		
2. 賑わいと癒しの創造	【1】魅力ある湯治場としての復活	(1) まちで楽しむ(観光)	宿泊客数	2,967,301人	3,250,000人		
			外国人宿泊客数	31,702人	70,000人		
		(2) まちを知ってもらう(情報発信・収集)	市ホームページアクセス数	277,815件/月	300,000件/月		
	【2】熱海らしい観光まちづくりによる満足度の向上	(3) まちを匂わせる(文化の振興)	地域ブランド調査 魅力度	31.0ポイント 市町村ランキング 16位	33.0ポイント 市町村ランキング 15位以内		
			起雲閣貸出施設利用人数	39,297人	43,000人		
		【3】地域特性を生かした産業の振興	(2) まちの恵みを受け取る(農林水産業の振興)	中央公民館施設利用人数	41,286人	42,000人	
				【再掲】市民教室受講者状況	69.5%	85.0%	
	(1) 個店の取り組みを支援する(商工業の振興)	(1) 個店の取り組みを支援する(商工業の振興)	市内卸売業・小売業の年間商品販売額合計	45,115(百万円) (H24年経済センサス)	47,371(百万円)		
			市内小売・飲食・サービス業の法人市民税申告額(市内本店事業所分)	66,712(千円)	70,048(千円)		
		(2) まちの恵みを受け取る(農林水産業の振興)	耕作放棄地面積	9,260a (H22年農業センサス)	9,200a		
農地への鳥獣被害面積の軽減			1,086a	760a			
(3) 新たな産業を育てる(労働力確保)		(3) 新たな産業を育てる(労働力確保)	初島漁港の整備(交流広場)	埋め立て工事中	平成30年度完成		
			市内労働者の市内居住率	68.6%	70%		
3. 人と自然が共生する社会の創造	【1】環境にやさしいまちづくり	(1) まちをきれいにする(廃棄物処理)	起業者支援による創業件数	—	10件		
			ごみの総排出量	23,583t	21,225t		
			1人1日当たりのごみの排出量	1,695g	1,525g		
		(2) まちを美しくする(環境衛生)	資源ごみの集団回収量	602,104kg	662,314kg		
	環境学習の参加者数		115人	300人			
	環境学習の開催数		4回	8回			
	【2】自然を守り継承し、癒される空間の創出	(1) 自然環境を保持する(自然環境の保全)	(1) 自然環境を保持する(自然環境の保全)	下水道接続件数	12,262件	12,512件	
				温泉湧出量の維持	17,296 <sup>部</sup> /分 (年度末)	現状維持	
			エコ教室開催数	5回	10回		
				河川のBOD	平均値 1.95mg/ℓ	平均値 1.4mg/ℓ	
(2) 豊かな生活空間を創る(緑地・公園・海岸・河川)		(2) 豊かな生活空間を創る(緑地・公園・海岸・河川)	河川浄化協力員数	47名	50名		
			公園ボランティアの人数	24人	40人		
		(3) 快適な住環境を創る(生活関連施設)	(3) 快適な住環境を創る(生活関連施設)	コースタルリゾート計画(渚地区)整備率	81.13%	85%	
				水道管路の耐震化率	36.3% (年度末)	46.3%	
【3】新たな産業を育てる(労働力確保)	(3) 新たな産業を育てる(労働力確保)	下水道整備率(整備面積/全体計画面積)	61.2% (年度末)	62.4%			
		水道管路の耐震化率	36.3% (年度末)	46.3%			
	(3) 新たな産業を育てる(労働力確保)	(3) 新たな産業を育てる(労働力確保)	下水道整備率(整備面積/全体計画面積)	61.2% (年度末)	62.4%		
			下水道整備率(整備面積/全体計画面積)	61.2% (年度末)	62.4%		
4. 総合計画推進	(1) 市民協働	(1) 市民協働	【再掲】NPO・ボランティア団体支援ルーム登録数	22団体 (年度末)	30団体		
			(2) 広域行政	(2) 広域行政	13市町の観光交流客数	4,182万人	4,700万人
					市税の収納率	88.9%	91.0%
			(3) 行財政運営	(3) 行財政運営	総合計画後期基本計画進捗状況	—	100%

住むひとが誇りを 訪れるひとに感動を



誰もが輝く楽園都市 熱海